

地区社協について

※地区社協とは？

地域には、ちょっとした手助けを必要としているさまざまな方たちが暮らしています。

地区社協は、そうした方たちを地域のみなさんが見守り支え合うことでだれもが安心して暮らせる町づくりを進める活動です。



※地区社協の最終目標

隣近所で見守り・支え合いの出来る地域にすること

具体的な活動は

①話し合いを行う

まず、地区社協を構成する区の役員や地区長・民生委員・介護予防推進員・盛人クラブ・消防団・子供会などの方々と、見守り活動やふれあいサロン活動・他交流活動・などの活動を進める中で出てきた問題点などについて、地区社協の中で話し合い、問題解決の方法や役割分担について検討します。

そうすることで、民生委員や介護予防推進との連携がその中で作れたり、見守り活動などを行うためのルールが出来たりします。また、民生委員や介護予防推進員の活動やサロン活動・見守り活動を他の役員の方々が理解し、地域での活動がしやすくなります。更に、こういう活動に一部の方々だけではなく、その他の団体やグループ、役員のおBなど多くの方々が加わって支え合いの輪が広がることで、最終的には、となり近所での支え合い活動につながっていくと思われれます。

②見守り声かけ活動を行う。

要見守り者を日頃から、気にかけてながら、積極的な声かけや訪問を行うことで、安否を確認したり生活状況を把握し、事故や事件を未然に防ぐ活動を行います。

留守がちだったり、お会いできない場合は、外から新聞受けや郵便ポスト、戸締り、照明の点灯などの状況から安否を確認し、生活を見守ります。

③ふれあいサロン活動（絆づくり）

地域の中で安心して健やかに暮らしていくために、誰もが気軽に参加し、ふれあい交流する場として、地域の人々が主体となって運営する、見守り・支えあいネットワークづくり活動の一環として実施する活動です。